

## **月報・週報・レビュー書等の報告書の記述ポイントと注意事項**

1. 5W2H を適切に盛り込み、簡潔な表現にする。1 文節 100 字以内を max と考える。
2. 体言止めは、例外を除いて使わない。完了形、進行形等を明確にする。例えば、「実施。」では、実施予定なのか、実施中なのか、実施済みなのかははっきりしない。
3. レポートからレポートへキーワードを引き継ぐ。一般の人は、先週や先月の報告は覚えていない。
4. 週報では、特に、問題点と対応策に主眼をおき、月報では、その結果がどうなったかを論点とする。
5. 自分が何を行ったかの観点を主とする。例えば、他部門主催の会議に参加した場合などに注意が必要である。